

翻訳支援システムのネットワーク化

翻訳業務の効率化をめざして

Building a Network of Translation Support System For Efficient Translation Work

(Control & Telecommunications Engineering, Telecommunications Engineering Group)

(制御通信部 通信技術G)

近年、海外製品の仕様検討や技術論文・規格等の和訳業務が増加している。そこで、これらの英文和訳業務の時間短縮のため、各部門で共用できるネットワークについて、構成、原稿の入力方法、訳文の出力（配布）方法、端末のレスポンス、通信データ量などの検討を行い、試行システムの導入により評価する研究を(株)東芝と共同で行っている。

Translation into Japanese of overseas product's specification sheets and engineering papers/standards has increased recently. Study on the network system to be utilized by every section in the organization has been conducted with Toshiba Corporation by introducing a prototype system, to evaluate the configurations, original text input procedures, output format and distribution procedures of the translations, responses of the terminals, size of communication traffic, amongst others.

1 研究の背景

今後の国際社会のなかで、海外製品の仕様検討や国際機関の技術論文・規格等の和訳業務が増加しておりこれに多くの時間が費やされている。

そこで、和訳業務の時間短縮のため、各部門で共用できるネットワークについて検討し、試行システムの導入により評価することとした。

2 システム概要

第1表にシステムの主な機能を示す。

第1表 翻訳支援システムの主な機能

英 文	一括翻訳
和 訳	対訳（英文と訳文の並列表示） 翻訳速度15,000~20,000語/H
辞 書	一般用語：6万語（普通の英和辞典程度） 専門辞書：電気・電子、情報、化学等各分野5万語 ユーザ辞書：最大20万語まで登録可能
入 力	イメージスキャナによる原稿読み取り キーボード
出 力	MS-DOSファイルからの入力 プリンタ MS-DOSファイルへの出力

4 今後の予定

今後も続けてシステム単体の評価を行うとともに、平成6年3月より本店~電力技術研究所の間にネットワーク（専用線）を構成し、電力技術研究所に設置する端末からの操作による評価を行う。（第2図）

これにより、ネットワーク化した場合の端末のレスポンスや通信データ量の計測、原稿の入力や翻訳結果の配布（出力）方法、データ共用の方法などについて検証していく。

さらに、ネットワークの伝送速度を変えた場合（64kbps~1.5Mbps）についても検証する。

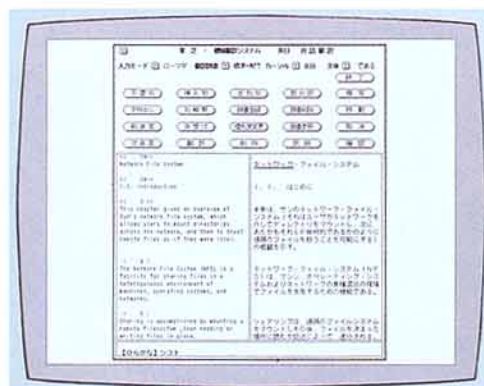
また、平成6年度からは検討の範囲を拡大し、構内LAN、回線交換網、パケット交換網など種々のネットワークについて検討を行う。

構内LANのネットワークやこれらを使用したシステム、その他既設ネットワークを利用したシステムとの接続、特に、回線交換網との接続に関しては、原稿の入力や翻訳結果の出力方法として、FAX網との接続を考え、これに必要なFAX蓄積装置やゲートウェイ（入出力変換装置）などの仕様検討も行う予定である。

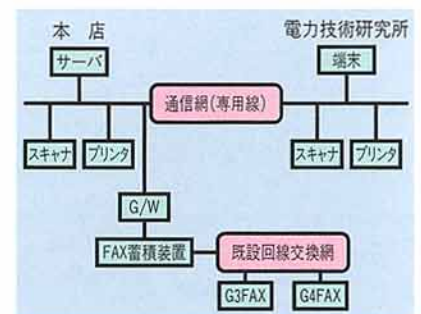
3 現在の状況

現在、本店に設置したシステム単体の評価を行っている。主に、技術論文や規格書を用いて検証しておりA4原稿1枚あたり、原稿の読み取りから文字の認識までに約1分、翻訳に約1分で実行できる。

第1図に実際の画面の例を示す。



第1図 実際の画面



第2図 検討するシステム